

感染症から生まれる差別・偏見を どうなくしていくかを考える授業をおこなっています

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、学校を含めた日常の生活にも、一部に制限があったり、新しい工夫が求められたりする状況が続いております。

これまでとは違う生活形式に変化していく中で、感染症に対する不安や感染者などへの差別・偏見などが社会問題となっているのも事実です。

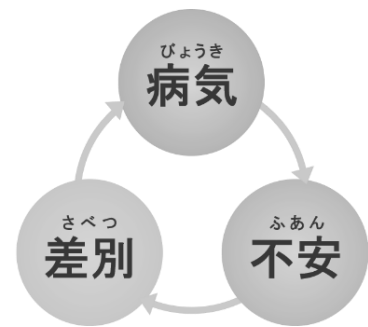
学校でも、感染予防を続けていきますが、新型コロナウイルス感染症には誰もがかかる可能性があることを前提に、身近な誰かが感染してしまったことを考慮した対応も必要となってきました。

2学期末には、日本赤十字社監修の「新型コロナウイルスがもたらす3つの”感染症”」の考え方をもとに、5, 6年生で新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見について考える授業を実施しました。その他の学年でも、学級の中で担任から同様の話をしていきます。

3つの“感染症”とは？

- ① “病気” そのものの感染症
- ② “不安” という気持ちの感染症
- ③ “差別・偏見” という意識の感染症

この3つの感染症が負のスパイラルとしてつながることで、さらなる感染拡大や、社会問題の深刻化へとつながっていきます。



Check 負のスパイラルを断ち切るためにできること

- ① ウイルスの感染をひろげないために…
まずは 手洗い・咳エチケットの徹底, 3密を避け、
自分自身の感染症予防を徹底しておこなう。
- ② 不安にふりまわされないために…
情報源のはっきりしないうわさ話はしない・広げないこと
- ③ 差別や偏見をひろげないために…
言い出しにくい空気をつくらないこと



授業の中で、5, 6年生が視聴した動画をこちらで限定公開しています。ぜひ、おうちのかたもご覧になっていただき、感染症に関わる社会問題について御家庭でも、話し合ってみてください。

文科省公式



参考：文部科学省補助事業「新型コロナウイルス 差別・偏見をなくそうプロジェクト」資料

本校では引き続き、検温、マスク着用、手洗い、消毒、換気、ソーシャルディスタンスの確保など、感染防止対策の徹底に努めるとともに、差別・偏見を生まないための働き掛けを続けていきます。御家庭でも引き続きの御協力をよろしくお願い申し上げます。（文責：教頭）